



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 ゼット株式会社

コード番号 8135 URL <http://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺裕之

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 山下龍美

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	19,307	△0.5	△88	—	△48	—	△63	—
27年3月期第2四半期	19,398	△2.4	31	△61.1	59	△40.8	619	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 26百万円 (△96.5%) 27年3月期第2四半期 741百万円 (554.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△3.26	—
27年3月期第2四半期	31.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	20,198	8,314	41.2	424.75
27年3月期	19,777	8,328	42.1	425.37

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 8,314百万円 27年3月期 8,328百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,600	1.9	△30	—	50	—	20	△88.0	1.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	20,102,000 株	27年3月期	20,102,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	526,109 株	27年3月期	522,560 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	19,578,118 株	27年3月期2Q	19,584,499 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に企業収益や雇用環境が改善するなど、緩やかな景気回復基調が継続したものの、個人消費の回復スピードは鈍く、世界経済の下振れリスクなどの懸念もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、①グループのスリム化と中核事業への集中、②自社品とカテゴリー別に独自の価値を創造、③低コスト経営（コスト競争力）の追求、④経営基盤（人材・IT・物流）の強化を基本方針とし、業績向上に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は19,307百万円（前年同四半期比0.5%減）、営業損失は88百万円（前年同四半期は営業利益31百万円）、経常損失は48百万円（前年同四半期は経常利益59百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は63百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益619百万円）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

#### (卸売部門)

卸売部門は、全般的に個人消費の回復スピードが鈍く、前年同四半期比微増で推移しました。「外商・スクール」及び「アスレ」マーケットは、サッカー用品が前期のサッカーワールドカップの影響による反動が大きく苦戦を強いられ、また、野球・ソフト用品も低調に推移いたしました。一方、テニス・バドミントン用品、卓球用品、競技シューズは堅調に推移いたしました。「ライフスタイル」マーケットは、アパレルが大きく落ち込み苦戦を強いられましたが、アウトドア用品やカジュアルスニーカーの販売状況が好転したこともあり、フットウェアが好調に推移いたしました。また、米国のメッセンジャーバッグブランド「TIMBUK2」の認知度が高まり、カジュアルバッグも好調に推移いたしました。「ボディケア」マーケットは、主力ブランドの苦戦が続いたものの、フィットネス器具やテーピング・サポーター類が堅調に推移したこともあり、微増で推移しました。

この結果、売上高は18,165百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。

#### (製造部門)

製造部門は、原価率の低減、商品企画、開発力の強化並びに品質向上に努めました。野球・ソフト用品は「プロステイタス」や「ネオステイタス」のハイグレードシリーズは引き続き高い評価を得ました。また、本格的な試合に挑むすべての少年軟式野球選手をバックアップする「グラントヒーロー」シリーズを発売いたしました。バスケットボール用品は、「コンバース」のバッグが契約更改にあたり流通販路の変更による影響を受け減収となりました。一方、健康関連用品は、ベースボール「カーツ」ウェアが堅調に推移したものの、その他用品は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は215百万円（前年同四半期比31.5%減）となりました。

#### (小売部門)

小売部門は、富士登山者数の減少や自然災害の影響でエントリー層の減少があり、夏場の山関連市場は厳しかったものの、㈱ロッジが運営する本格的な登山用品ECサイト「PREMIUM SHOP」の販売が好調に推移したこともあり、堅調に推移いたしました。㈱すぼ一つらんどコジマは、沼津店、富士店を7月末で閉店いたしました。

この結果、売上高は310百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。

#### (その他部門)

物流部門は、外部受託業務における取扱の一部変更があったことにより、大幅な減収となり苦戦いたしました。

スポーツ施設運営部門は、前期からの販売促進活動の強化もあって、ほぼ計画どおりに推移いたしました。

この結果、売上高は617百万円（前年同四半期比18.4%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ421百万円増加し、20,198百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が702百万円及び商品及び製品が112百万円減少したものの、現金及び預金が962百万円、投資有価証券が157百万円増加したこと等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ434百万円増加し、11,883百万円となりました。これは主に、長期借入金が153百万円及び未払消費税等が70百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が692百万円増加したこと等によるものであります。純資産については、前連結会計年度末に比べ13百万円減少し、8,314百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が89百万円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が102百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間までの実績と今後の動向等を踏まえ、平成27年5月14日に公表いたしました連結業績予想を変更いたしました。なお、当該予想値の修正に関する事項は、本日(平成27年11月6日)公表の「第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,657	3,619
受取手形及び売掛金	8,701	7,998
商品及び製品	3,420	3,307
仕掛品	52	92
原材料及び貯蔵品	126	140
その他	148	163
貸倒引当金	△41	△41
流動資産合計	15,064	15,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,815	2,838
減価償却累計額	△1,965	△1,990
建物及び構築物 (純額)	849	847
土地	1,228	1,228
その他	1,215	1,272
減価償却累計額	△992	△979
その他 (純額)	222	292
有形固定資産合計	2,299	2,368
無形固定資産		
その他	64	60
無形固定資産合計	64	60
投資その他の資産		
投資有価証券	1,653	1,811
長期貸付金	39	37
敷金	256	249
その他	461	453
貸倒引当金	△63	△63
投資その他の資産合計	2,348	2,488
固定資産合計	4,712	4,917
資産合計	19,777	20,198

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,733	8,425
短期借入金	402	355
未払法人税等	45	23
未払消費税等	138	68
賞与引当金	225	213
その他	518	471
流動負債合計	9,064	9,558
固定負債		
長期借入金	445	291
繰延税金負債	387	452
退職給付に係る負債	370	378
長期未払金	277	276
その他	904	925
固定負債合計	2,384	2,325
負債合計	11,449	11,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	3,549	3,446
自己株式	△73	△74
株主資本合計	7,450	7,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	875	965
繰延ヘッジ損益	4	0
為替換算調整勘定	27	30
退職給付に係る調整累計額	△29	△27
その他の包括利益累計額合計	878	968
非支配株主持分	—	—
純資産合計	8,328	8,314
負債純資産合計	19,777	20,198

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	19,398	19,307
売上原価	15,682	15,770
売上総利益	3,716	3,537
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	305	266
運賃及び荷造費	380	387
賃借料	130	120
役員報酬及び給料手当	1,325	1,255
貸倒引当金繰入額	△5	1
賞与引当金繰入額	215	200
減価償却費	72	78
その他	1,259	1,315
販売費及び一般管理費合計	3,684	3,625
営業利益又は営業損失(△)	31	△88
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	12	17
受取賃貸料	9	9
業務受託料	8	15
その他	24	19
営業外収益合計	56	62
営業外費用		
支払利息	7	3
売上割引	16	17
その他	5	1
営業外費用合計	29	23
経常利益又は経常損失(△)	59	△48
特別利益		
固定資産売却益	916	—
特別利益合計	916	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	975	△48
法人税、住民税及び事業税	218	15
法人税等調整額	137	△0
法人税等合計	356	15
四半期純利益又は四半期純損失(△)	619	△63
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	619	△63



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	619	△63
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119	89
繰延ヘッジ損益	4	△3
為替換算調整勘定	△3	2
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	121	89
四半期包括利益	741	26
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	741	26
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	975	△48
減価償却費	77	84
有形固定資産売却損益(△は益)	△916	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	53	△11
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5	8
受取利息及び受取配当金	△14	△19
支払利息	7	3
売上債権の増減額(△は増加)	702	702
たな卸資産の増減額(△は増加)	△368	58
仕入債務の増減額(△は減少)	287	692
未払消費税等の増減額(△は減少)	26	△70
その他	△87	△60
小計	742	1,339
利息及び配当金の受取額	14	19
利息の支払額	△7	△3
法人税等の支払額	△45	△43
営業活動によるキャッシュ・フロー	703	1,311
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△20	△83
有形固定資産の売却による収入	2,080	—
無形固定資産の取得による支出	△1	△9
投資有価証券の取得による支出	△2	△3
長期貸付金の回収による収入	8	3
長期貸付けによる支出	△3	△0
定期預金の預入による支出	△300	△300
定期預金の払戻による収入	—	300
保険積立金の解約による収入	—	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,761	△79
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,000	—
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△183	△200
配当金の支払額	△38	△39
その他	△34	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,156	△272
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,304	962
現金及び現金同等物の期首残高	2,173	2,357
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,478	3,319

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。